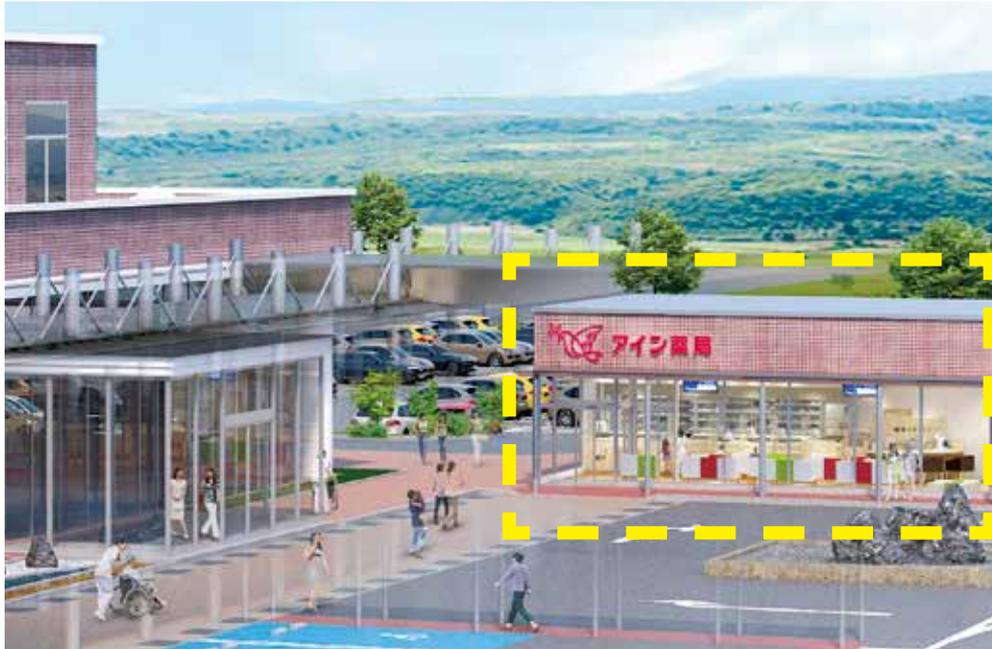


あさひ総合病院に 敷地内薬局が9月上旬にオープンします



▲敷地内薬局のイメージ図（黄点線枠箇所）。敷地内薬局は病院正面入口の向かって右側に設置予定です。

現在、あさひ総合病院では患者の利便性向上を目的に病院の敷地内に保険調剤薬局を開設するための工事を進めています。この敷地内薬局の開設については、令和4年8月に敷地内薬局の開設と併せて病院の環境整備

備への提案について（※）公募型プロポーザルにより、事業者を選定し、事業を進めています。また、敷地内薬局の開設と同時に旧医師公舎の解体工事も行っています。敷地内薬局を開設する主な効

敷地内薬局を開設する主な効果

- ◆患者の利便性向上
病院正面入口から公道を介さず薬局へ行くことができるため高齢者等の利便性が向上
- ◆患者や保険者等の負担軽減
敷地内薬局の調剤報酬点数引下げによる負担軽減（診療費の軽減）
- ◆病院の経営改善
薬局からの賃料収入と事業者負担による病院環境整備

今後のスケジュール

令和5年5月末まで	旧医師公舎解体工事
令和5年5月上旬から7月末	敷地内薬局建築工事
令和5年9月上旬	敷地内薬局オープン

果と今後のスケジュールについては左記に記載しているとおり、令和5年9月上旬に敷地内薬局をオープンする予定としています。工事期間中は工事エリアに立ち入ることのないようご協力をお願いいたします。また、旧医師公舎解体工事に伴い、近隣の住民の皆さんには騒音等でご迷惑をおかけする場合がありますが、併せてご理解のほどお願いします。なお、今回の敷地内薬局の開設と旧医師公舎の解体工事に関

※公募型プロポーザル…業務を行う上で最も適した提案者を選定する方式で、地方自治体（今回は病院）が応募した事業者の中から最もふさわしい民間事業者を選定する方式です。この特徴は①公平性・透明性・客観性を備えた選定が可能②質の高い提案を可能とする選定方式③提案者を選定し、発注者と共同作業で事業の進捗が可能、とされています。

する費用は、全て事業者の負担で事業を進めています。